

⚠ 取扱上の注意事項

製品名：閉鎖型スプリンクラーヘッド「YMFQR 型」 (高感度型：1種、r2.6)

ヤマトプロテック株式会社

このたびは、当社のYMFQR 型スプリンクラーヘッドをご採用いただきまして、まことにありがとうございます。

このスプリンクラーヘッドは感熱部に低融点合金を採用し、ノズルを封止する部分はメタルシールを採用するなど、高い信頼性を持つ製品です。但し、使い方を一步誤ると本来の性能が発揮できないばかりでなく、消火機能を失う場合がありますので、この「取扱上の注意事項」をよくお読みのうえ、正しくお使いくださるようお願いいたします。

なお、本書は大切に保存し必要なときお読みください。

⚠ 重要な警告事項

取付け請負業者様の責務として、この「取扱上の注意事項」または本書のコピーを施主様、及びこの設備の管理者に必ずお渡しください。

施主様の責務として、この設備、及び機器が常に適切な状態となるように維持管理してください。

火災時には、まず安全な場所に避難してください。

消防隊が駆けつけた場合には、必ず消防隊の指示に従って行動してください。

ご使用上の ⚠ 警告 ⚠ 注意事項

1. ⚠ YMFQR 型スプリンクラーヘッド(以下、ヘッドといいます。)は、標準型ヘッドのうち、高感度型「感度の種別が1種、有効散水半径が2.6m」の性能を持った下向き型・マルチ型のヘッドです。要求した設計仕様と相違ないことを確認してからご使用ください。
2. ⚠ ヘッドにライター等の火を近づけないでください。
ヘッドが熱により作動し、水が放出します。
3. ⚠ ヘッドの真下にストーブを置かないでください。
ヘッドが熱により作動し、水が放出する恐れがあります。
4. ⚠ ヘッドの誤作動(火事でもないのに突然放水してしまうこと)を防ぐため、取付け場所で予想される環境温度に応じた標示温度のヘッドを選定し設置してください。設置後のヘッド周囲の温度は、下表に示す環境最高温度を超えないようにしてください。

ヘッドの標示温度	環境最高温度
72	38 以下
96	63 以下

5. ⚠ 取付けられたヘッドは「許容される環境最高温度以下」、及び「腐食性ガスや湿気が無く、日光の当たらない環境」を維持してください。
ヘッドの予備品は、腐食性ガスや湿気が無く、日光の当たらない涼しい場所に保管してください。
熱によるヘッドの誤作動、あるいは腐食による誤作動や、火災時に作動出来なくなる恐れがあります。

6. ⚠ ヘッドに物をぶついたり、ぶら下げたり、突いたりしないでください。
万一、外力が加わった場合は、ヘッドを交換してください。
正常な作動が出来なくなったり、漏水や誤作動の事故原因となったりします。
このような不正な行為をした後、すぐにはこのような現象が起こらずに、ある程度の時間が経過した後、突然現れることがあります。
7. ⚠ ヘッドをカーテンや垂れ幕等で覆わないでください。
正常な機能が得られません。
8. ⚠ ヘッドには塗装をしないでください。
正常に火災感知ができなくなり、作動出来なくなる恐れがあります。
9. ⚠ 石鹼・洗剤・アンモニア・洗浄液、または化学薬品を使用して掃除しないでください。
また、ヘッドにはたきを掛けたり、雑巾で拭いたりしないでください。ほこり、糸くず、虫の巣等を取除くには、軟らかい毛で作られたブラシ等で行ってください。
ヘッドが腐食したり破損して、漏水や誤作動の事故原因となります。
10. ⚠ 冬季の厳寒時に暖房を止めた場合は、配管内の水が凍結する恐れがあります。
保温するなど適切な凍結防止対策を行ってください。
凍結によりヘッドが破損し、漏水や誤作動の事故原因となります。
11. ⚠ ヘッド、及びヘッド取付け部から「漏れ」を発見した場合は、早急に新品のヘッドと交換してください。
長期間放置すると水に含まれた塩素分の影響により、ヘッドのステンレス部品が「応力腐食割れ」を起こし、誤作動の事故原因となります。
12. ⚠ バスルームや脱衣場等で、結露または湯気が当たることが日常的に繰り返される場所に設置すると、ヘッドに錆が発生する恐れがあります。
錆が発生したヘッドは早急に新品と交換してください。
塩素分にさらされて、ステンレス部品に応力腐食割れが発生し、火災でもないのに作動してしまうか、または実際の火災時に正常に作動しなくなる恐れがあります。
13. ⚠ 設置後、ヘッドに錆・変色・油煙等の付着物がある場合には、ヘッドを交換してください。
漏水や誤放出等の事故原因になったり、火災時に作動しなくなったりする危険性があります。
14. ⚠ ヘッドの部品の一部には、鉛やカドミウム等の合金が使用されています。
ヘッドの廃棄に際しては諸法令に準じて行うか、または専門業者にご依頼ください。
15. ① 部屋の間仕切り変更や、増改築を行う場合は、事前に施工業者にご連絡ください。
ヘッドの取付け位置の変更や、新たな設置が必要な場合があります。
16. ① ヘッドの清掃や交換は、専門業者（施工業者等）に依頼してください。
ヘッドを交換する際は、今取付いているヘッドと同じ機種で、新品のヘッドと交換してください。機種が異なると、所定の効果が得られない場合があります。
17. ① 万一、ヘッドが作動した場合は、部品が落下しますので注意してください。
また、落下した部品を素足で踏むと、ケガをする恐れがありますのでご注意ください。
分解した部品は、調査資料とする場合がありますので、施工業者、または当社までご連絡のうえ、部品の回収をお願いいたします。

取付け上の ⚠ 警告 ⚠ 注意事項

18. ⚠ 設置、及び施工に関しては、消防法施行令、施行規則、及び諸法令に沿って行ってください。
19. ⚠ ヘッドを取付ける前に、必ずここに記載した「警告・注意事項」をよくお読みになり、十分に理解してから施工してください。
20. ⚠ 落としたり、ぶついたりしたヘッドは、絶対に使用しないでください。
漏水や誤作動（火事でもないのに突然放水してしまうこと）の事故原因となります。
21. ⚠ 取付け場所で予想される環境温度に応じた標示温度のヘッドを取付けてください。

環境温度	ヘッドの標示温度
38 以下	72
39 ~ 63 以下	96

ヘッドが高温になると、火事でもないのに突然放水してしまう事故が起こる恐れがあります。

22. ⚠ ヘッドの保管、及び運送における周囲の環境は、腐食性ガスがなく、湿気のない涼しい所、直射日光が当たらない所としてください。
23. ⚠ 窓越しに直射日光が当たる場所や照明器具の近く、エアコン等の熱風吹き出し口の近くにヘッドを設置しないでください。
直射日光や暖房器具の熱風によりヘッドが高温になり、誤作動の事故原因となります。
24. ⚠ ヘッドの相互間の距離が短い場合、先に開放したヘッドからの被水により、熱（火災）感知が遅れる場合があります。
25. ⚠ 換気装置の吹き出し口付近にヘッドを設置しないでください。
火災時に、ヘッド周辺の気流の乱れから火災感知が遅れる場合があります。
26. ⚠ ヘッドは、扉の開閉や荷物の収納等により、接触・衝突しない場所に設置してください。
ヘッドの漏水や、誤作動の事故原因となります。
27. ⚠ 急激な温度変化を繰り返す場所では、漏水する恐れがあります。
あらかじめ、当社までご相談ください。
28. ⚠ 取付け場所環境が下記のような腐食性雰囲気には設置できません。あらかじめ当社までご相談ください。
「屋内プール及びその周辺、消毒用サラシ粉を扱う場所、塩鮭の加工工場、焼却炉等の他、バスルーム・脱衣場・調理場等で結露または湯気が当たることが日常的に繰り返されるような場所。」
塩素分にさらされて、ステンレス部品に応力腐食割れが発生し、火災でもないのに作動してしまうか、または実際の火災時に正常に作動しなくなる恐れがあります。
塩素、及びその他の腐食成分を含む環境。
ヘッドが腐食して、火災でもないのに作動してしまうか、または実際の火災時に正常に作動しなくなる恐れがあります。
29. ⚠ 物や人がぶつかりやすい場所のヘッドには、専用のガードを取付けてください。

30. ⚠️ 配管内の水は水道水を使用してください。
酸、アルカリ、塩分等を含んだ腐食性のある水は使用しないでください。
水を封止する部分の腐食による、漏水の原因となります。
31. ⚠️ 銅配管を使用する場合には、銅配管接続に使われたハンダ付フラックス残渣を配管内から水洗いにより完全に取除いてください。また、ハンダ付けフラックスは腐食性の高いものは避け、水溶性のものを必ずご使用ください。
水を封止する部分の腐食による、漏水の原因となります。
32. ⚠️ フラッシング等により、配管内の異物を取除いてからヘッドを取付けてください。
配管内に異物が詰まっている場合には、消火機能が失われます。
33. ⚠️ ヘッドを取付ける際、ネジ部にシール材を付け、必ず専用レンチ「レンチMFJ」を使用
して取付けてください。パイプレンチ等の使用は絶対に止めてください。
ヘッドをレンチヘッドの中にキッチリと入れて、安定した状態で取付けてください。締め
込む際、脚立等の足場に注意してください。

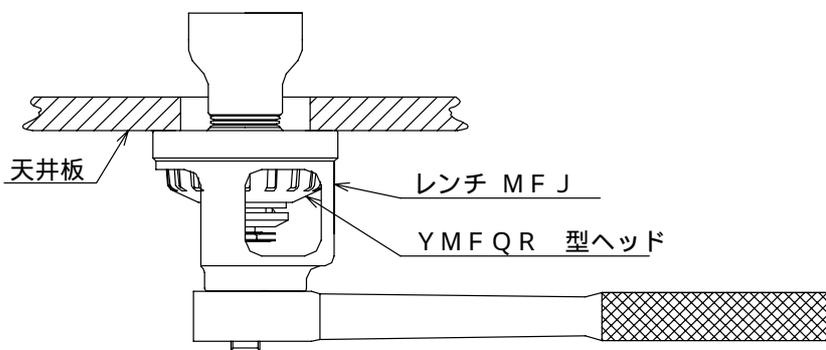


図1

34. ⚠️ 継手への締め込み過ぎに注意してください。
継手とヘッド本体の間には、下図に示すようにすき間を設けてください。
締め込み過ぎは、漏水の原因となります。

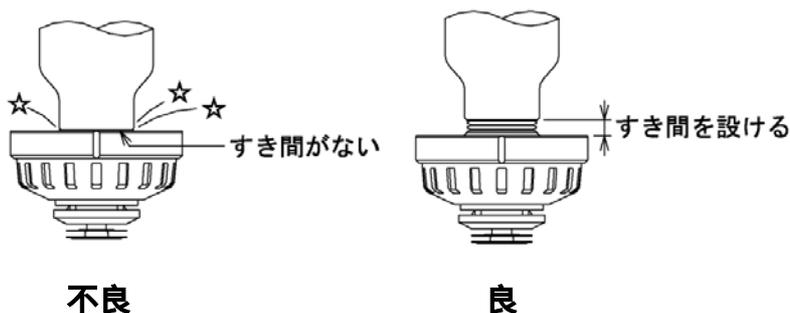


図2

35. ⚠️ 集熱板（防護板）を設置する際は、当社製の集熱板を必ずご使用ください。
次ページの図3に示すように、継手と集熱板との間に金属ワッシャーを挟み込む方式で集熱
板は絶対に使用しないでください。
ヘッドの締め込み過ぎによる、漏水の原因となります。
当社「集熱板A」をご使用の場合、集熱板とゴム材の締め込み具合を横方向から見なが
ら行ってください。ゴム材が「めくれたり、変形しない」程度に締め込んでください。
過大な力で締め込むと、漏水する恐れがあります。
集熱板の締め込み具合を横方向から見ることはできない場合には、「集熱板Q」のご使用を
お奨めいたします。

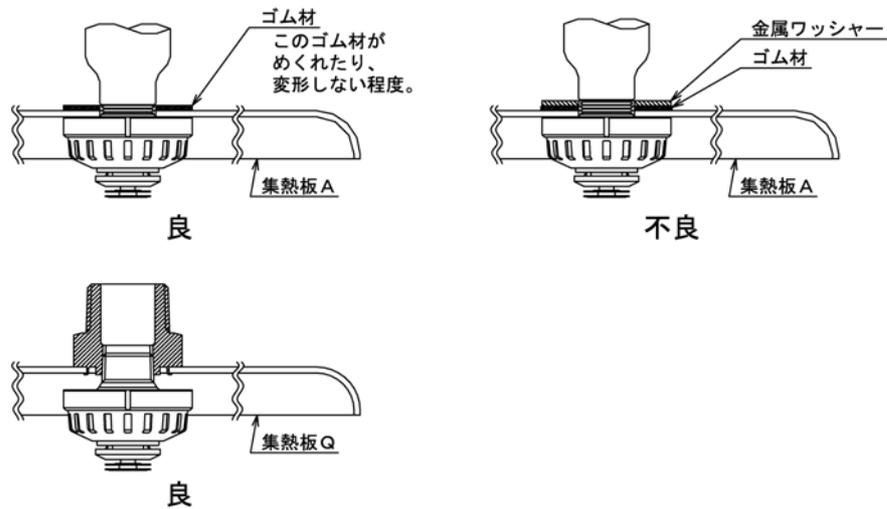


図3

36. ⚠ 専用のシーリングプレートは、天井面に密着するように正しく取付けてください。
 シーリングプレートが傾いたりした場合は、十分な散水性能が得られない場合があります。

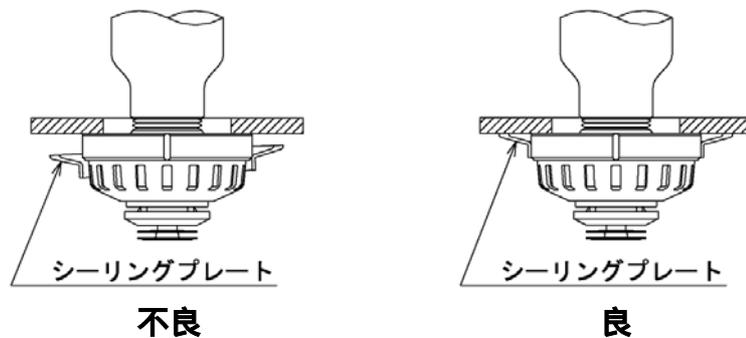


図4

37. ⚠ 配管内の水が凍結しないようにしてください。
 厳寒時のヘッド取付け工事中において、建物内の暖房設備が稼動していない状態で、配管内に水が残っている場合には、管内の水が凍結する恐れがあります。
 冬の凍結防止対策が別途必要となる場合があります。
 凍結により、ヘッド各部の破損や漏水事故をまねくばかりでなく、火災時に正常な放水ができなくなる恐れがあります。

製品仕様

	【 国家検定品 】	
	製品名称	YMFQR 型
	標示温度	72、96
	感度の種別	1種
	防護範囲	r 2.6
	取付け方向	下向き
	取付けネジ	R 1/2
	耐圧試験	2.5 MPa (静水圧)
	標準放水量	80 L/min (0.1 MPa放水時)
	質量	140g